【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成31年1月10日(2019.1.10)

【公開番号】特開2018-83614(P2018-83614A)
【公開日】平成30年5月31日(2018.5.31)
【年通号数】公開・登録公報2018-020
【出願番号】特願2017-196567(P2017-196567)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｈ　3/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｈ　3/00　Ｚ
Ｂ６０Ｈ　3/00　Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成30年11月22日(2018.11.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両（ＭＶ）に設けられる眠気抑制装置（１０）であって、
前記車両の運転者（Ｍ）に向けて覚醒用空気を噴射する噴射部（１４０，１４１，１４２）と、
前記噴射部の動作を制御する噴射制御部（１２０）と、
前記車両に設けられた空調装置（２０）の動作を制御する空調制御部（１３０）と、を備え、
前記噴射部が前記覚醒用空気を噴射する際には、前記空調装置から吹き出される空調風によって前記運転者への前記覚醒用空気の到達が妨げられないよう、前記空調制御部が前記空調装置の動作状態を変化させ、
前記覚醒用空気は香り付きの空気であり、
前記空調装置は、前記車両の外から空気を取り込む外気導入モードと、前記車両の車室内から空気を取り込む内気循環モードと、を実行し得るものであって、
前記噴射部が前記覚醒用空気を噴射する際において、前記空調制御部は、
前記外気導入モードにおいて前記空調風の吹き出しが行われるよう、前記空調装置の動作状態を変化させる眠気抑制装置。
【請求項２】
前記噴射部が前記覚醒用空気を噴射する際において、前記空調制御部は、
前記空調風の風量が小さくなるように前記空調装置の動作状態を変化させる、請求項１に記載の眠気抑制装置。
【請求項３】
前記噴射部が前記覚醒用空気を噴射する際において、前記空調制御部は、
前記空調風の吹き出しが停止するように前記空調装置の動作状態を変化させる、請求項１に記載の眠気抑制装置。
【請求項４】
前記噴射部が前記覚醒用空気を噴射する際において、前記空調制御部は、
前記空調風の向かう方向が変化するように前記空調装置の動作状態を変化させる、請求項１に記載の眠気抑制装置。

【請求項５】
前記噴射部が前記覚醒用空気を噴射する際において、前記空調制御部は、
前記空調風の少なくとも一部が前記運転者の足元に向かう状態となるように前記空調装置の動作状態を変化させる、請求項４に記載の眠気抑制装置。
【請求項６】
前記噴射部による前記覚醒用空気の噴射が完了した後において、
前記空調制御部は、前記外気導入モードにおける前記空調風の吹き出しが一定期間継続するように前記空調装置を制御する、請求項１に記載の眠気抑制装置。
【請求項７】
前記噴射部による前記覚醒用空気の噴射が完了した後において、
前記空調制御部は、前記空調風の少なくとも一部が前記運転者の顔に向かう状態とした上で、前記外気導入モードにおける前記空調風の吹き出しが一定期間継続するように前記空調装置を制御する、請求項１に記載の眠気抑制装置。
【請求項８】
前記空調制御部が前記空調装置の動作状態を変化させたこと、又はこれから変化させることを、運転者に報知する報知部（１５０）を更に備える、請求項１乃至７のいずれか１項に記載の眠気抑制装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本開示に係る眠気抑制装置は、車両（ＭＶ）に設けられる眠気抑制装置（１０）であって、車両の運転者（Ｍ）に向けて覚醒用空気を噴射する噴射部（１４０，１４１，１４２）と、噴射部の動作を制御する噴射制御部（１２０）と、車両に設けられた空調装置（２０）の動作を制御する空調制御部（１３０）と、を備える。噴射部が覚醒用空気を噴射する際には、空調装置から吹き出される空調風によって運転者への覚醒用空気の到達が妨げられないよう、空調制御部が空調装置の動作状態を変化させる。覚醒用空気は香り付きの空気である。空調装置は、車両の外から空気を取り込む外気導入モードと、車両の車室内から空気を取り込む内気循環モードと、を実行し得るものである。噴射部が覚醒用空気を噴射する際において、空調制御部は、外気導入モードにおいて空調風の吹き出しが行われるよう、空調装置の動作状態を変化させる。